

「三浦保」愛基金県直営事業・県特別枠事業(平成29年度当初予算)

県直営事業

【環境保全・自然保護分野】

(単位:千円)

環境学習プログラム策定事業費 (県民環境部 環境政策課) 3,119

環境学習モデルプログラムの開発や、若手講師育成講座の開催等により、環境学習の導入促進や次世代を担う人材育成を図る。

- 1 環境学習モデルプログラム関連事業
 - (1) 環境学習モデルプログラムの開発
 - (2) 環境学習若手講師育成講座の開催
・環境学習講師養成・実践講座
- 2 環境学習プログラム発行事業

えひめの生物多様性まるごとフェスタ開催事業費(県民環境部 自然保護課) 2,980

県民の生物多様性の保全活動等への参画、協働等を促進するため、講演会や展示会、生物多様性の恵みである農産物の紹介等を通じて、「生物多様性の意義」の理解促進を図る。

- 1 時期 29年11月中旬
- 2 対象 県民、農林水産及び商工団体 500人
- 3 内容 講演、保全活動等事例発表、パネル展示等

【社会福祉分野】

障がい者文化芸術活動推進事業費 (保健福祉部 障がい福祉課) 3,035

障がい者の文化芸術活動支援の取組状況を幅広く県民に情報発信するとともに、優れた芸術作品や創作者を発掘するため、コンクールを開催する。

- 1 障がい者文化芸術祭開催事業
 - (1) 障がい者文化芸術活動の発表
 - (2) 障がい者文化芸術作品の展示・販売
 - (3) 障がい者文化芸術活動支援の取組事例等の紹介
- 2 障がい者が制作した芸術作品のコンクール
 - (1) 対象 県内在住の障がい者
 - (2) 募集作品 絵画・デザイン、書道、陶芸の3部門
 - (3) 表彰 15人(特選1人、優秀賞3人、佳作10人、観客賞1人)
 - (4) 展示 29年12月 県美術館

ヘルプマーク導入事業費 (保健福祉部 障がい福祉課) 2,938

障がい者の事故防止や障がい・障がい者に対する理解を促進するため、支援や配慮が必要であることを示すマークを作成・配布し、障がい者が安心して安全に社会生活を営める環境を整備する。

- 1 ヘルプマーク作成
- 2 周知啓発

障がい者就職応援事業費 (経済労働部 労政雇用課) 1,893

障がいのある学生向けの合同就職説明会を開催し、学生の就業意欲の醸成を図るとともに、企業向けのハンドブックの作成・配布及び障がい者雇用促進セミナーを実施する。

- 事業内容
- ・学生向け障がい者合同就職説明会の開催
 - ・企業向け障がい者雇用のためのハンドブックの作成・配布
 - ・企業向け障がい者雇用促進セミナーの開催

運転免許自主返納促進事業費 (警察本部) 1,134

高齢者の交通事故防止対策として運転免許の自主返納意識を促進するためのガイドブックを作成・配布する。

- 1 配布数 ガイドブック 30,000冊
- 2 配布先 警察署、官公署、病院等

県特別粋事業

みきゃんデジタルアートミュージアム整備事業費(保健福祉部 子育て支援課) 12, 044

えひめこどもの城に、子どもの独創性や表現力を育むプロジェクションマッピングによる体験型室内アトラクションを整備する。

- 1 設置時期 29年5月
- 2 設置場所 えひめこどもの城2階パソコンコーナー
- 3 内容 ・お絵かきアプリ(3種)
・アソビーツ(2種)
- 4 委託先 伊予鉄総合企画(株)

障害者スポーツ大会競技会等支援事業費(えひめ国体推進局 障がい者スポーツ大会課) 14, 245

障害者スポーツ大会で使用する競技用具やバリアフリー機器等を購入する。

- 1 競技用具整備
 - (1) 正式競技の競技用具の購入(陸上、水泳、卓球・STT、アーチェリー等)
 - (2) オープン競技の競技用具の購入(ブラインドテニス、精神障がい者フットサル等)
- 2 競技会場バリアフリー対策
観客用車椅子、ポータブルスロープ、プール用車椅子等の購入
- 3 広報・PR対策
応援用横断幕、ロゴマークシール等の購入

※県特別粋事業とは、基金が平成29年度に創設10周年を迎えることから実施する、例年の県直営事業より規模の大きな事業です。